

令和4年度第2回「地域フォーラム」

奈良のまちづくり

令和4年10月9日(日)
天川村山村開発センター

奈良県知事 荒井正吾



リニア中央新幹線、大規模広域防災拠点、
関西国際空港接続線

リニア中央新幹線「奈良市附近駅」の早期確定



15年後(2037年)のリニア中央新幹線「奈良市附近駅」の設置に向けて動きが加速しています。



※リニア中央新幹線建設促進期成同盟会パンフレットを基に作成

リニア新駅の設置で大事なこと

事業者の観点

- ・用地確保
- ・発生土活用先の確保
- ・文化財破損リスク

地元の観点

- ・交通の結節性
- ・まちづくりの可能性
- ・将来の発展性

- 「経済財政運営と改革の基本方針2022(骨太の方針)」
(令和4年6月7日閣議決定)

「建設主体が**2023年から名古屋・大阪間の環境影響評価に着手できるよう、沿線自治体と連携して、必要な指導、支援を行う。**」と、**具体的な手順に関する方針を明確に記載。**

- 令和4年6月17日 岸田内閣総理大臣との懇談

岸田総理から、「**来年から環境影響評価に着手できるように、駅そしてルート**の決定に向けて、**強いリーダーシップを発揮していただければ**」とのご要請を頂戴しました。



岸田総理と荒井知事と一見三重県知事との懇談

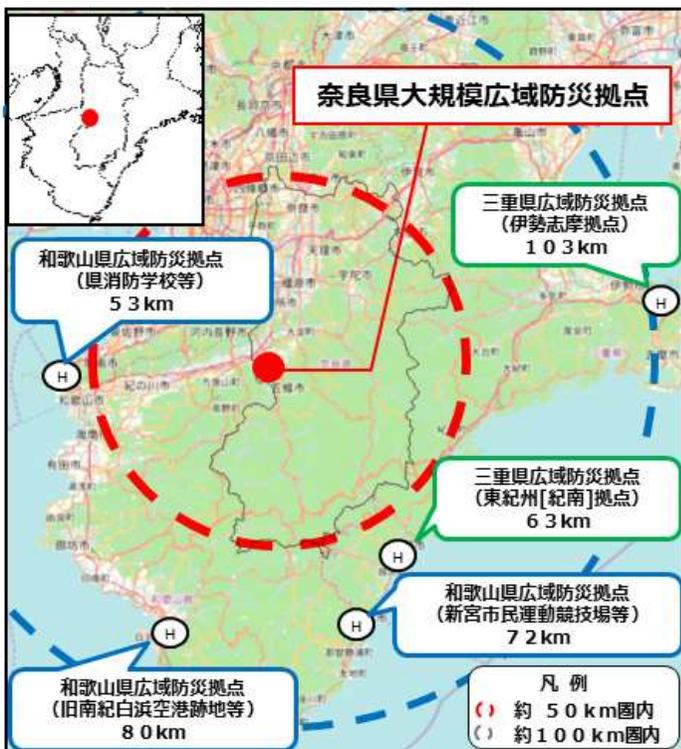
大規模広域防災拠点の整備

令和4年6月に「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画」に位置づけられました。

<計画地の概要>

- 紀伊半島沿岸部の大部分が概ね100km(空路で約30分)圏内
- 紀伊半島アンカールートの結節点であり、紀伊半島沿岸部への救助救援等の活動が可能
- 近隣に奈良県ドクターヘリの駐機する南奈良総合医療センターが立地

計画地の立地状況



交通アクセスの状況



医療施設の状況



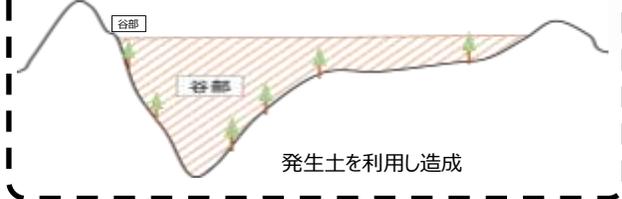
リニア中央新幹線の発生土を活用(大規模広域防災拠点)

五條市の大規模広域防災拠点の整備が本格化してきました。Ⅱ期工事までの用地取得が確実にになりました。Ⅲ期整備に向けて2,000m級滑走路の早期設置を目指します。

Ⅲ期:2,000m級滑走路を有する大規模広域防災拠点

大規模広域防災拠点の整備に発生土を活用

《造成イメージ》



Ⅰ期:5haの平場を有する広域防災拠点



Ⅱ期:600m級滑走路を有する大規模広域防災拠点(約46ha)



土砂運搬ルート全体図



リニア中央新幹線等の建設に伴う発生土について、鉄道による輸送を検討。一部バイパス線の建設や線形改良を実施。

貨物駅のイメージ図



地域道路の整備

南部地域の道路整備の取組

紀伊半島アンカールートの整備

五條新宮道路（国道168号）

五條新宮道路は、京奈和自動車道と近畿自動車道紀勢線を南北に結ぶ高規格道路です。現在、早期整備に向けて取り組んでいます。

新天辻工区

平成28年度に大規模法面崩落により70日間の通行止めが発生



▲五條市西吉野町西野（平成28年4月） ▲五條市西吉野町西野（平成25年9月）

国道168号の中で冬期間通行の最大の難所



▲天辻峠（五條市）で立往生する車両（平成28年1月）

十津川道路（Ⅱ期）

平成27年度に大規模法面崩落により61日間の通行止めが発生



十津川村桑畑（平成27年7月） 被災時の通勤・通学状況 十津川村桑畑

奈良中部熊野道路（国道169号）

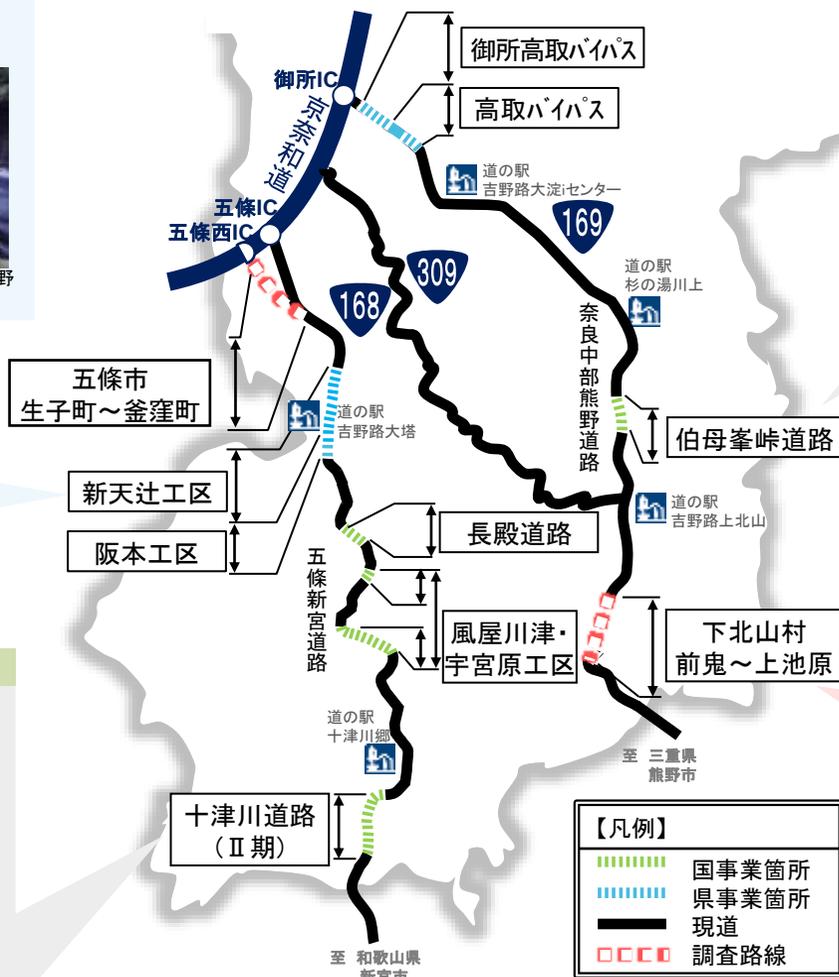
奈良中部熊野道路は、五條新宮道路と一体となって紀伊半島アンカールートを構成する高規格道路です。現在、早期整備に向けて取り組んでいます。

伯母峯峠道路

現道の新伯母峯トンネルは車両のすれ違いが困難な状況



▲新伯母峯トンネル（川上村～上北山村）での大型車のすれ違いの状況

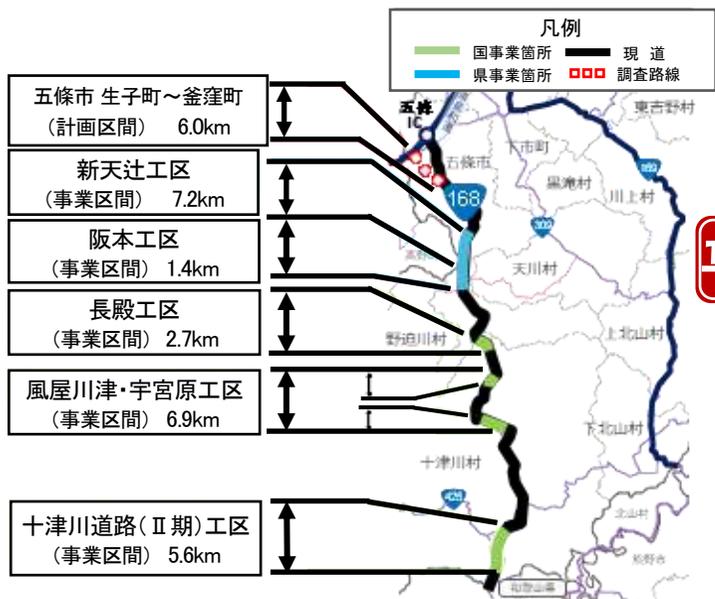


下北山村前鬼～上池原

現道は急カーブが連続し線形不良であり車両のすれ違いが困難な状況



五條新宮道路(国道168号)の整備状況



TOPIC 重要物流道路に指定されました

令和4年4月に、新広域道路交通計画を踏まえ、五條新宮道路(国道168号)が『重要物流道路』に位置づけられました。

また、併せて、五條新宮道路で現在事業中の5工区全てが「事業区間」、県調査路線の1箇所が「計画区間」として指定されました。

風屋川津・宇宮原工区

現在、橋梁工事を進めています。

▲工事のようす

阪本工区

現在、トンネル工事を進めています。

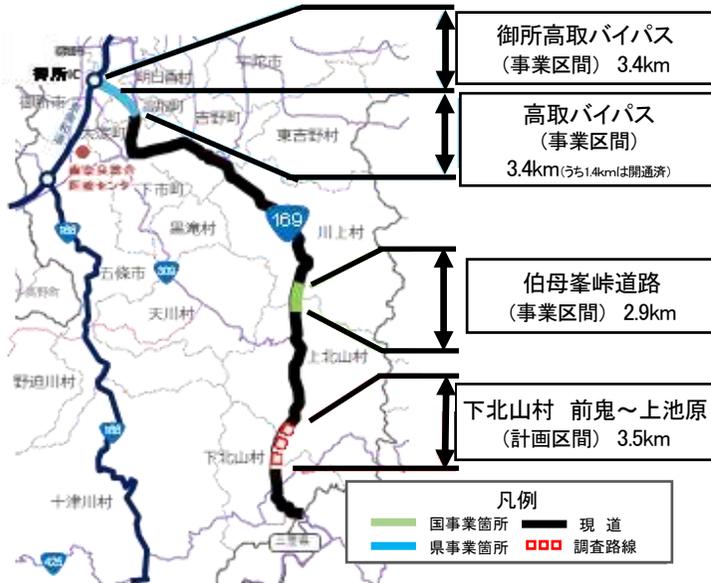
▲工事のようす

長殿道路

現在、橋梁工事を進めています。

▲工事のようす

奈良中部熊野道路(国道169号)の整備状況



TOPIC

重要物流道路に指定されました

令和4年4月に、新広域道路交通計画を踏まえ、奈良中部熊野道路(国道169号)が『重要物流道路』に位置づけられました。

また、併せて、奈良中部熊野道路で現在事業中の3工区全てが「事業区間」、県調査路線1箇所が「計画区間」として指定されました。

御所高取バイパス

現在、調査・設計を進めています。



▲完成イメージ

高取バイパス

現在、高架橋工事を進めています。



▲工事のようす

伯母峯峠道路

現在、橋梁工事を進めています。



▲工事のようす

地域道路の整備状況

一般国道309号 丹生バイパス



バイパス[平成28年8月6日開通]

主要地方道 高野天川線

「奈良県道路網図(R1JHs1026)を転載」



塩谷～九尾工区
(和田地区)



整備後[令和4年3月18日 完成供用]



整備後[令和4年3月29日 部分供用]

南部・東部地域振興とまちづくり

南部・東部の都づくり



「奈良県美しい南部・東部地域を県と市町村が協働して振興を図る条例」(令和4年3月制定)に基づき、市町村と協働して南部・東部地域振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進しています。

南部・東部地域振興のための基本的施策

産業の振興及び雇用の創出

住民の福祉の向上及び生活の安定

防災・減災対策の推進

魅力ある地域づくりの推進

デジタル社会の形成の推進

条例の基本理念

県、南部・東部市町村及び関係市町村、県民並びに関係事業者が適切な役割分担並びに相互の連携及び協力の下、基本的な施策を定め、**拠点の形成、拠点間の結節の確保**並びに必要な**人材の育成及び確保**に取り組む。

条例のねらい

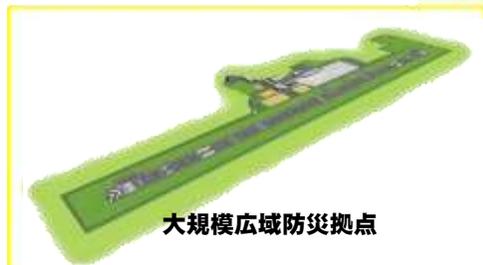
- 南部・東部地域の振興に関する施策を**市町村と協働**して総合的かつ計画的に推進するための「条例」を制定することにより、施策実施の**継続性を担保**するとともに、まちづくり・むらづくりの方向性を明確にする。
- 南部・東部地域が果たしてきた**役割を再認識**し、持続可能な地域社会の形成を**県民共通の目標とする**。



拠点の形成及び結節・人材の育成及び確保



人が集まる**拠点の形成及び結節**、地域を支える**人材の育成・確保**に引き続き取り組み、**持続可能な地域社会の形成**に向け、これまでの取り組みをさらに進めます。



南部・東部地域の拠点と結節



南部・東部のデジタル化推進

南部・東部地域は、急速な少子高齢化や若年層の流出により、多くの解決すべき諸課題を抱えており、**デジタル化による課題解決の効果が特に大きい**地域だと考えています。県全体の地域デジタル化を進めるためにも、本地域において、住民に寄り添ったデジタル化を着実に進めることが重要です。

■ 「奈良デジタル戦略」を策定しました。（令和4年3月）

- ・ **住民目線に立ったデジタルによる「できる化」を基本目標**とし、それを実現する**デジタル原則や重点領域・プロジェクト・体制**を定めました。

もっとよくなるための「できる化」が進行中です。

行政サービスの刷新

- すべての行政手続きが手元のスマートフォンで完結できる**「奈良スーパーアプリ」**の設計に着手しています。今年度中に設計を完了し、来年度からサービスを開始します。



困りごとを抱える人や地域の支援

- **南部・東部地域の生活改善のために、デジタル・サービスを重点的に展開します。**
 - ・ デジタルサービス導入に向けて、「**奈良県美しい南部・東部地域を県と市町村が協働して振興を図る条例**」に基づき、**協議の場を設置**し、市町村と連携しながら、地域のデジタル化を具体化していきます。
 - ・ 南部・東部地域を含む県内市町村からの提案を踏まえ、**自動運転等デジタル技術を活用した交通サービスの導入**に向け、協議会を設立し、検討を開始します。
〔対象市町村：五條市、宇陀市、三郷町、田原本町、明日香村〕

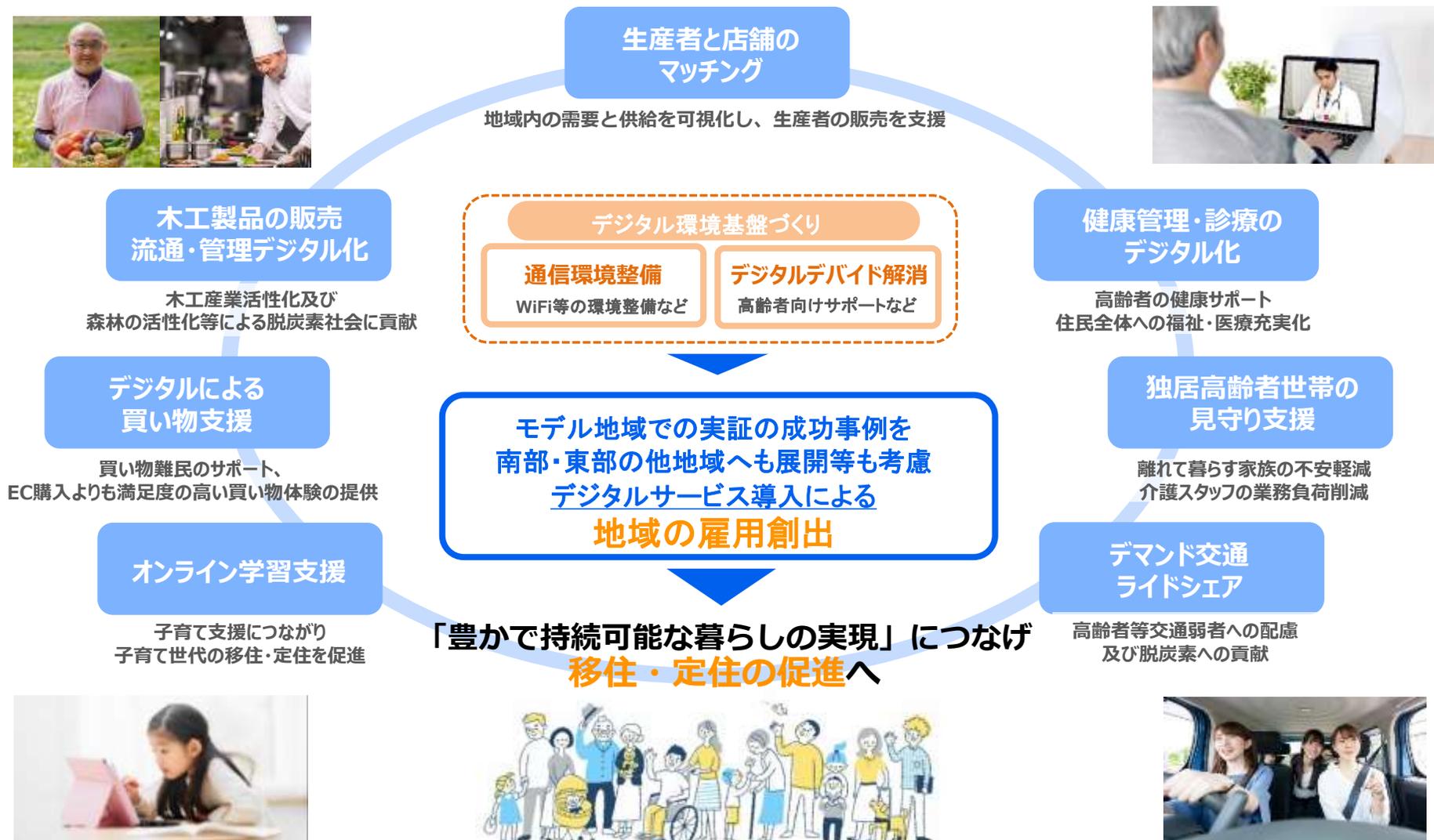
デジタルデバイド対策

- 誰もがデジタル技術を活用できるよう、「**誰一人取り残さない**」デジタル化を推進します。
 - ・ 市町村が行う**デジタルデバイド解消**のための取組を支援します。
 - ・ 高齢者等をサポートするスマホ講座を開催します。

地域におけるデジタル社会の「ビジョン」を検討し、そのための原則や重点施策等を盛り込んだ条例を年度内に策定し、デジタルによる「できる化」を更に進めていきます。

展開イメージ

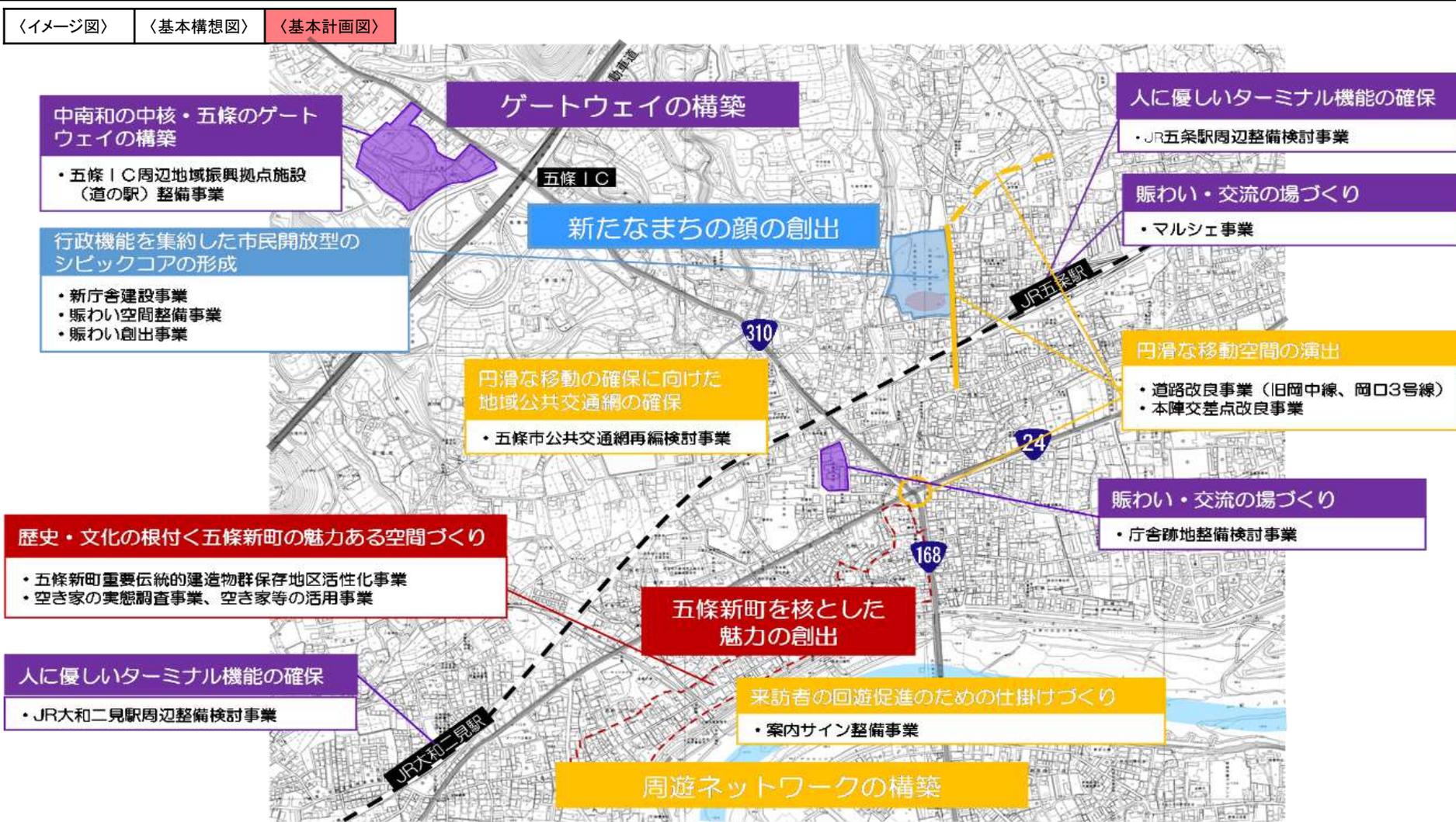
- 住民の「豊かで持続可能な暮らしの実現」につながるデジタルサービスを導入に向けた実証実験
- 地域内における雇用の創出につながるデジタル化により、移住・定住の促進にまでつなげる



開催地域のまちづくり連携協定

五條市 五條中心市街地地区

<コンセプト> 新たな中南和の玄関口の顔づくり



五條市 五條西地区

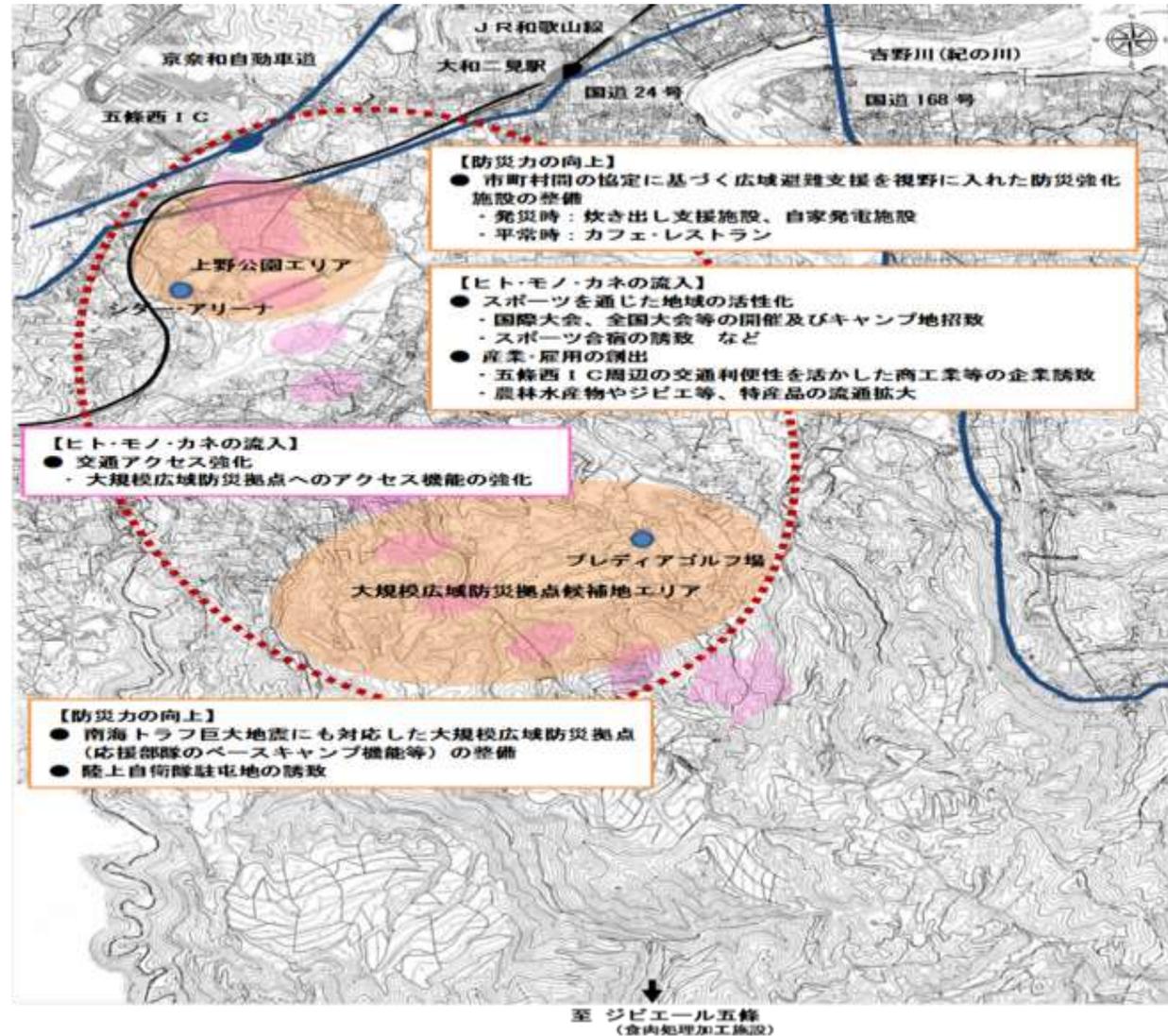
<コンセプト>

「防災力の向上」と「ヒト・モノ・カネの流入」による地域の活性化

<イメージ図>

<基本構想図>

<基本計画図>



十津川村 武蔵地区

<コンセプト>

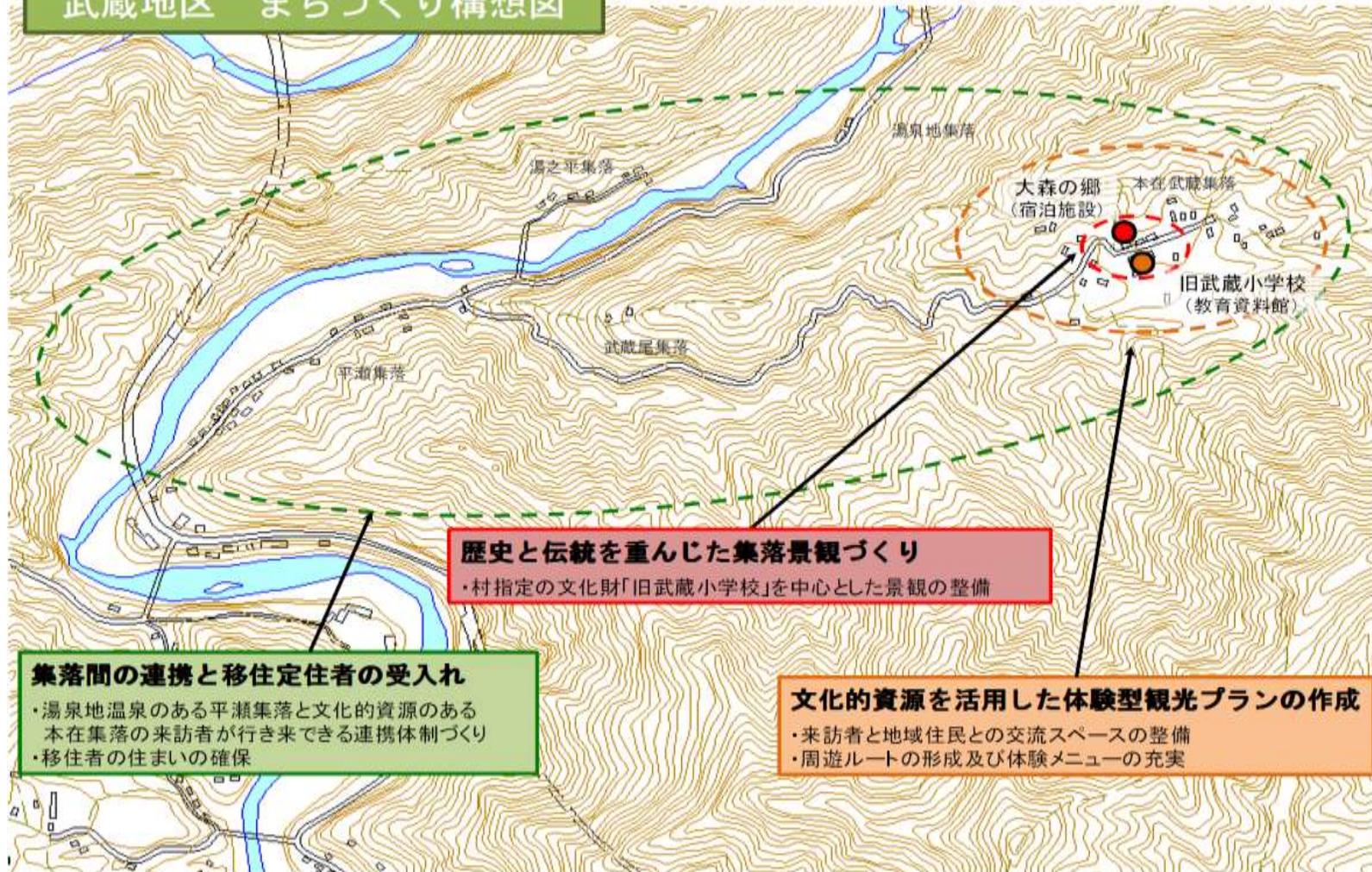
「歴史文化を尊重したおもてなしのまちづくり」

<イメージ図>

<基本構想図>

<基本計画図>

武蔵地区 まちづくり構想図



十津川村 平谷地区

<コンセプト>

暮らしと温泉が息づく活力ある地域づくり

<イメージ図>

<基本構想図>

<基本計画図>

事業者・村民・行政が一体となった「おもてなし」の提供

- ・バスセンター周辺の観光案内等の情報発信機能の強化
- ・祭りや食文化、観光資源等を活かした村民がもてなす村ぐるし体験型プログラムの開発
- ・地域交流センター「いごら」を活用した村民と来訪者との交流の場づくり



そぞろ歩きしたくなる「佇まい」のある温泉地づくり

- ・サイン整備や景観スポット等の整備による回遊性の向上
- ・温泉地らしい「佇まい」を意識した植栽等の修景整備
- ・安全な歩行者空間のあり方の検討

<街なみ修景整備>



生活拠点、温泉地として人が集まることを活かした新たな「暮らしの糧」づくり

- ・地域交流センターや空き店舗を活用した新たなチャレンジが出来る場づくり



村内外からの住み替え先としての住まいの確保

- ・空き家等を活用した住み替え先としての住まいの確保と改修支援

平谷地区の賑わいづくりに向けた新たな担い手づくり

- ・地区内外の取組をつなぎ、新たな地域活力やチャレンジが生まれる仕組みの強化
- ・地域団体の活動支援



村民の暮らしを支える生活サービス機能の充実

- ・事業者の継続支援等による生活サービス機能の維持
- ・生活拠点(平谷)と村外拠点や周辺集落を結ぶ公共交通の確保
- ・バスセンターを交通結節点として待合環境・乗継利便等を向上させ、機能を強化
- ・様々な世代が集い、交流できる場としての生活改善センターの有効活用の検討



十津川村 谷瀬地区

<コンセプト>

美しい風景と生きがい・やりがいのある集落づくりの継承

<イメージ図>

<基本構想図>

<基本計画図>

集落活動拠点(寄合、祭り、イベント等の実施)の機能強化(事務局機能、情報発信機能の強化)



加工所(つくりば)の整備、つり橋茶屋の魅力向上による特産品生産拡大・多品目化、販売拡大(コミュニティ機能の付加)

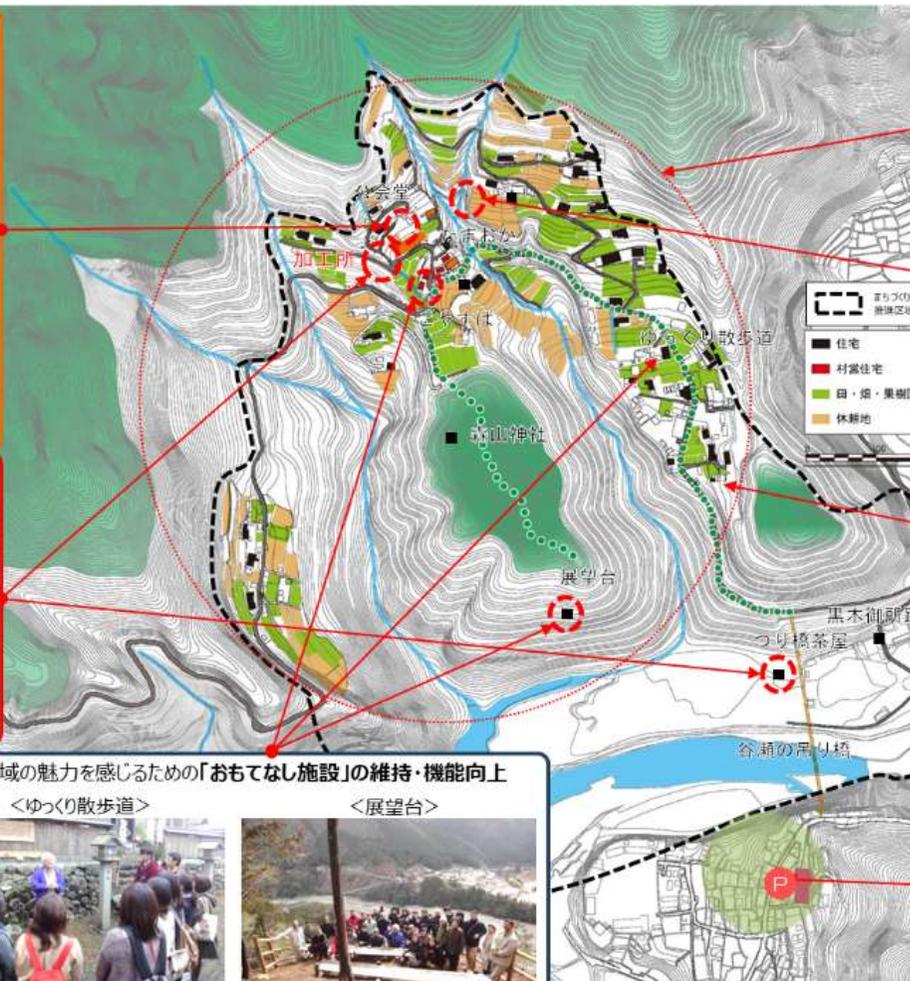


来訪者が集落でゆっくりと時間を過ごし、地域の魅力を感じるための「おもてなし施設」の維持・機能向上

<こやすば(小休憩所)>

<ゆっくり散歩道>

<展望台>



集落景観デザインの維持及び植栽
(南斜面に家屋、石垣、棚田がバランス良く広がり、自然と調和したヒューマンスケールの風景が地域資源となっている)



移住体験施設の活用促進に向けた体験プログラムの開発
<移住体験施設「たまおか」>



空き家と休耕地をセットにした移住者向け住まいの確保と改修支援
<空き家(■)と休耕地(●)>



谷瀬の吊り橋の玄関口、北部地域の中心地となる「上野地地区」との連携強化



十津川村 高森地区

<コンセプト> 「助け合い・支え合いで暮らし続けられるまちづくり」

<イメージ図>

<基本構想図>

<基本計画図>

高森地区 まちづくり構想図

最期まで村で暮らし続けられるしくみづくり

- ・高齢者の生きがい・やりがいとなる作業場づくり (共同農園等)
- ・高森のいえを活用した多世代が交流し、笑顔が生まれる場づくり
- ・移動販売や公共交通等の生活支援サービスの充実

村全体の福祉サービスの連携

- ・福祉サービスの向上のための施設整備
- ・村全体をサポートする医療、介護、福祉の連携体制づくり

特別養護老人ホーム
「高森の郷」

住まいの整備

- ・一人暮らしに不安を抱える高齢者世帯向け村営住宅の整備
- ・子育て世帯向け村営住宅の整備

